

## 本書を利用する小中学生のみなさんへ

### 本書の利用にあたって

本書は、前半が「著名人からの本の紹介」、後半が「図書館からの本の紹介」となっています。「目次」や「図書の索引」をうまく利用すると、興味のありそうな人や本がよりさがしやすくなります。

「図書の索引」には、図書館から紹介された本について、「図書の分類」が1から8の番号で示してありますので、本をさがすときの参考にしましょう。

ここに紹介されている本の中には、同じ書名でもいろいろな出版社から出されているものがあります。紹介されている出版社の本だけでなく、身近にある本や手に入れやすい出版社の本を読んでください。

同じ本でも幼児から大人まで、様々な年齢の人にあわせて出版されているものがあります。自分にあった内容の本を選びましょう。

### おことわり

ここに紹介されている本の中には、出版されなくなってしまう本や書店に置かれていないものがあります。そうした本は近くの図書館などでさがしてみてください。

### 読み物としても利用しましょう

本書では、それぞれの本の内容が簡単に紹介されていますので、その紹介文を読んで、読みたい本をさがすときの参考にしましょう。

また、著名人のページでは、「小中学生のみなさんへ」というみなさんへのメッセージもありますので、ぜひ読んでみてください。いろいろな道で活躍してきた人の思いにふれることができます。

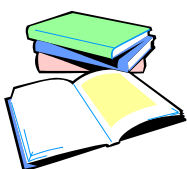
※ 著名人のページで紹介されている本や本の紹介文は、小学生の人には少し難しいものもあります。先生やおうちの人に読んでもらったり、どんなことが書いてあるか教えてもらったりしましょう。

### 本の世界を広げよう

本の紹介文などからおもしろそうだと思った本を読んでみましょう。友だちや家族と読んだ本を紹介しあうと、読書の楽しさも増します。

本書には約一八〇冊の本が紹介されています。たくさん本を読んでいろいろな知識や考え、感じ方を身につけてほしいと思いますが、自分のペースで読み、本を読むことの楽しさを見つけましょう。

ある本を読んで気に入ったら、同じ作者が書いた本をさがして読んでみましょう。また、たとえば「恐竜の本」を読んで気に入った人は、他の恐竜に関する本をさがして読んでみましょう。一冊をきっかけにして自分の本の世界が広がります。



## 先生や保護者、図書館の方々へ

学校や家庭、図書館などで、子どもたちが少しでも本に親しみ、読書の喜びが感じられるような取組や環境づくりに、本書を役立ててください。

### 学校での活用例

#### 本の紹介

- 学校図書館や学級、学年の廊下等に「みんなにすすめたい一冊の本」コーナーを設置し、掲載されている図書や関連図書を広く紹介する。
- ホームページに掲載されたWeb版をプリントアウトして教室や廊下、図書館等に掲示したり、図書館便り、学級・学年便り等を通じて本を紹介したりする。

- 本書に掲載されている図書を、校内放送や集会等を利用して先生や児童生徒が紹介していく。

#### 読書活動等

- 本書に掲載されている図書を、先生や読み聞かせボランティアの人などが読み聞かせる。
- 本書に掲載されている本を読み、「わたしのすすめる一冊」を紹介しよう。
- ◆ 朝の会や帰りの会のスピーチで読んだ本の紹介をする。

- ◆ 「わたしのすすめる一冊」を読書カード等に書かせて掲示する。

- 本書に紹介されている図書を対象に読書感想文コンクールを実施したり、児童生徒の読後の感想を通信等で紹介したりする。

- 図書を紹介している著名人や本の著者に、感想を書いて届ける。(著名人に届ける場合は県教育委員会に要相談)

- 本書に紹介されている図書や関連図書を対象に、多読コンクール、スタンプラリー等を実施する。

- 読書週間・月間、読書まつりなどの期間に、冊子に掲載されている図書を読ませたり、紹介したりする取組を行う。

- 学校や市町村単位で、独自に図書紹介冊子やリストを作成し、児童生徒の読書活動を推進する。

- ◆ (例) 「〇〇市の一〇〇冊」「〇〇小PTAが選ぶこの一冊」「〇〇中の先生・生徒がすすめる一冊の本」

### 家庭や公共図書館での取組例

- 【家庭】 本書に掲載されている本を読み聞かせしたり、家族で同じ本を読み合ったりする。

- 【家庭】 本書の利用をきっかけにして「家庭読書の日」等をつくり、家族で読書に親しむ。

- 【図書館】 「みんなにすすめたい一冊の本」コーナーを設置する。図書館のホームページに県教育委員会ホームページへのリンクを貼る。